

# 八雲

第57号

(令和2年10月発行)

## 大東高校校歌

一、勝田の森の奥深く

文の林に分け入りて  
学びの花を摘まんかな  
袂の花のほこらひに  
我が青春は謳ふべし

二、夕影たかく秋深き

織部の山に風かよふ  
かの夕つつの訪ひを  
返らぬ夢ときくなれば  
手をとりにていざ共に哭け

三、理想の洋は遙かなり

真理の道の遠ければ  
あゝ、カルデアの牧人が  
尋ねし星を今更に  
中天高くよまんとす

四、東天高く曙の

光は走る今にして  
平和の鐘のひびく時  
自由と愛の舵をとり  
いざ大瀛に棹さゝん



## 新しい時代における「不易」と「流行」

八雲会会長 土江博昭

「神集う 国原雲の 彩ふかし」この俳句は、大東町佐世の出身、栗間歌史（本名 久）先生の句です。

コロナ禍で季節感を感じないまま月日が流れていくのが何か空しい気がいたしておりますが、爽やかな秋風とともに神在り月を感じたいと願っております。

今、我が国は新型コロナウイルスの感染拡大により、まさに国難ともいべき局面に立たされ、大きな不安に揺れ動いております。一刻も早く新型コロナウイルスの感染が終息し、学校の教育環境、国民の健康、安全安心な生活、そして経済の立て直し等を願うばかりでございます。

こうした中、この度、歴史と伝統ある八雲会の会長の任を仰せつかりました。

私は、戦後のベビーブームを反映し、クラスメイトが56名という、大東高等学校創立以来の生徒数を数えた第18期卒業生でございます。もとより浅学菲才な私でございますが、八雲会の会員の皆様をはじめ、役員の皆様、事務局の皆様方のご支援、ご協力を賜りながら、重責を全う致したいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

改めてこれまでの卒業生会誌「八雲」を開いてみますと、尊い歩みの中で、会員の皆様の、母校大東高等学校発展への熱い思いと次代を担う生徒の皆さんへのエールが伝わってまいります。とりわけ、創立百周年記念式典、記念講演会は、前八雲会会長の安原重隆様、中村訓子校長先生をはじめ実行委員会の皆様の多大なるご努力によりまして、成功裡に終了いたしました。

企画から開催までご尽力を賜りました皆様に改めて心から敬意と感謝の意を表しますとともに、

皆様の足跡は大東高等学校が新しい時代を歩みだす大きな力になることを信じております。

星霜百余年の節目とともに、時代は大きく変わり始めました。その実感は、コロナ禍の中で一層拍車がかかり、新しい生活様式、新たな学び方の必要性が強く求められております。

実際にオンライン授業が実施され、ユーチューブの動画が日常生活や学習面でも大きな力を発揮いたしております。時代は、人生100年時代、Society5.0という超スマート社会が到来する世の中になって行きます。そんな社会を生き抜く生徒の皆さんへ、私たちは、何を導き、何を支援すればいいのでしょうか。

昔も今も赤川の流れは、変わらず、脈々と流れております。

AI、ロボットが人に代わって能力を発揮する時代においても、AI・ロボットには決して代替できないものがあります。

それは豊かな感性かもしれません。豊かな自然の中で、自然の恵みを感じ、温かな家族や地域の人々との語らひを楽しみ、仲間と未来の社会を創造していく。

そこには人間ならではの感性があると思います。そしてその感性を大きく成長させるのは、「人・もの・こと」との出会いだと思います。

生徒の皆さんが、人と関わり、地域や社会、世界と関わりをもつ、そんな環境づくりに貢献できることを願っております。

結びに、大東高等学校の益々のご発展と八雲会会員の皆様のご活躍とご多幸をお祈り申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。





## 「やり始める やり続ける 成し遂げる」

校長 田根 衛

今年4月に大東高校校長として着任しました田根衛と申します。平素より本校同窓会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。本来であれば八雲会総会や各支部会等で着任のご挨拶させていただくところですが、新型コロナウイルス感染症の拡大予防対策として、全国的に各種大会や会合が中止になり、このようなかたちでのご挨拶となりましたこととお詫びいたします。令和2年は新型コロナウイルス感染を抜きには語れない年となってしまいました。生徒・教職員一同、今できることは何かを常に考え、通常の教育活動の中にコロナ対応を取り入れながら毎日をご過ごしている状況です。

このコロナ禍にあって、改めて生徒たちの良い面に気づかされたことがありました。それは、落ち着いた生活態度を維持してくれたことです。4月20日から臨時休業に入り5月連休明けに再開するはずが、5月25日に延期され、生徒たちには部活動や授業の進度、受験などの不安もあったことと思います。しかし、学校再開後、進路や部活動で一番動揺しているはずの3年生たちが落ち着いた生活態度を続け、部活動を続ける者、進学に向け引退して放課後自習をする者など、それぞれに頑張っている姿がありました。お陰で授業は順調に進み7月31日段階では、例年なみの授業進度となっています。また、3年生全体の1学期の欠席合計はわずか5日で、近年になく少ない欠席でした。また、入学して間もなく臨時休業になった1年生も、6月以降は高校生活に慣れ、学習と部活動の日々を穏やかに過ごすことができました。ご家庭や地域の落ち着いた生活環境のお陰だと思っています。

また、部活動でも、昨年度の県総体Bグループ総合優勝を引き継ごうと連覇を目指し各部が日々練習に励んでいました。バドミントン部やソフトボール部が春の全国大会出場の権利を得ていましたが、それも中止となりました。その後、県総体や夏の甲子園大会も中止となり、7月にその代替大会として県高等学校夏季大会が開催されました。各部活動とも悔いのない活躍をしてくれ、まず野球部が3回戦まで勝ち上がり（ベスト16）、これに続いたのが剣道部女子個人2位、そしてソフトボール部（女子）の9年ぶりの優勝です。このほか男子バスケット部や男女バレー部、ソフトテニス部、空手道部などもよく健闘し、どの大会にもドラマがありました。また、文化系の部活動では、写真部の作品1点が全国高等学校総合文化祭（高知大会）にインターネットでの出品による参加を果たしました。

特に、ソフトボール部の優勝はソフトボール部員が頑張った結果であることはもちろんのこと、各部活動が切磋琢磨し、放課後練習や朝練を「チーム大東」として一丸となって取り組んだ結果の優勝でもあると思っています。代替大会が開催されなかったバドミントンや吹奏楽の部員を含め、全校生徒にとってうれしい結果となりました。

高校の魅力化事業の一環として、今年度から大東高校と三刀屋高校、三刀屋高校掛合分校の3校の魅力ある教育活動を支援・実行する、地域と学校の共同体（コンソーシアム）として、「雲南コミュニティハイスクールコンソーシアム（略称UCHC）」が設置され、本格的にスタートしました。これは雲南市長、2高校の校長、掛合分校副校長の4名が共同代表となり、地元の行政機関である雲南市や市教育委員会、地域各種団体、NPO法人カタリバ等で構成された組織です。探究的な学習活動の支援や県外生募集活動なども、コンソーシアムを中心として行っていきます。このUCHCの最初の取り組みとして、4・5月の臨時休業中での市内3校の生徒と各学校とをインターネットで繋ぐ仕組みを他地域に先駆けて導入したことが挙げられます。各家庭のネット回線とパソコンまたはスマホを利用して学校と画面上で会議をするものですが、ネット回線や機器等の環境が整わない生徒に対しては機器を無償で貸し出しており、5月連休明けの分散登校のときからオンラインでクラス朝礼ができるようになりました。生徒や担任、生徒同士がお互いの顔を画面で一度に見ることができ、孤立感や不安感の解消に役立ちました。また丸一日かけて生徒の健康観察等の電話連絡をしていた担任の負担も一気に軽減されました。今回整備した生徒と学校を繋ぐこの仕組みは、今後、災害等の緊急用として、さらには、オンライン授業など新たな学びの提供として、UCHCとして検討していく必要があるかと考えています。

このように大東高校は、落ち着いた生徒と学びを支える組織UCHCにより、多様な進路に対応した教科学習や地域課題を中心とした探究学習、活発な部活動など、魅力ある教育活動を行い、他者と協働して粘り強く最後までやり抜く力を身に付けさせていきたいと考えています。冒頭の「やり始める やり続ける 成し遂げる」を合い言葉に、地域や未来を創造する人材の育成に努めて参りますので、引き続き母校へのご支援とご協力をお願いいたします。

## —— 安原前会長感謝状贈呈式 ——

去る7月21日八雲会前会長の安原重隆様の感謝状贈呈式をコロナ禍ということもあり本校校長室で行いました。安原様には副会長・会長として10年間お務めいただき、創立100周年記念事業では、各事業部の統括として寄付活動・記念誌や式典のこと、台風で一旦は延期になった池上彰先生の講演会の接待や準備・設定など数多くの場面で大変お世話になりました。



また、在校生の寄宿舎のお世話もいただき、生徒も教職員も安原様なしでは、今日の大東高校の多方面の活躍はなかったと思います。この度100周年事業の区切りがついたということでご勇退になりますが、今後とも我々後輩のため、ご指導・ご鞭撻をお願いいたします。安原様のご健康とご多幸をお祈りし、ご功績に対し心より感謝申し上げます。

## 関西支部会

小山 勉 (第23期)

今年もとうとう9月半ばを過ぎました。残暑が厳しく、まだまだ暑い日が続いていますが、わずかに涼しさを感じられるようになり、夕暮の空が秋らしくなってきました。

1月の頃から、テレビ、新聞などで新型コロナウイルス感染拡大のニュースが報じられました。あれから8ヶ月経った今もなお、収束の兆しを見せぬコロナウイルス、未だに世界中の人々の生活を脅かしています。1日も早く収束し、元の生活に戻ることを願うばかりです。

さて、今年は今和となり初めての支部会開催でしたが、緊急事態宣言の発令により、開催を見送ることとなりました。案内状の発送も終わり、準備万端というところだったのですが、4月に入り、広木益夫支部長(16期)より中止にしようとの連絡、苦渋の決断だったものと推察いたします。130名の会員の方々には、年に一度の総会を楽しみにしていただいております、残念というしかありません。例年なら30名の参加も、今年は10名。高齢化が進み、コロナが不安で外出を自粛したく欠席しますという回答が多数あり、

現実として受け止めざるを得ませんでした。

昨年の10月、関東支部会に広木支部長、高橋潮氏(10期)、中村淳氏(22期)、私の4名で特別参加しました。参加者が少ないことを知り、盛り上げに行こうと計画したのですが、なんと30名の参加者に驚きました。

事務局となり、来年は3年目。他支部との共通の課題である会員登録者の高齢化、新規会員、特に若手会員の勧誘にどう取り組むか、悩むところですが、支部の存続、発展のため、既存会員の皆様に協力をいただきながら努力したいと思っております。

最後に、永年会長として御尽力いただいた安原会長に心から御礼申し上げます。

今後も我々後輩を見守ってくださいますよう、お願いいたします。



本年1月下旬頃、中国武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎の発生について報道され始め、当時は他国の出来事と思っていましたが、それがあつという間に世界中を駆け巡り日本そして広島にも感染拡大してきました。そして毎日毎日感染者が何名、死者が何名と報道され、著名人の死亡も伝えられました。楽しみにしていた野球などのスポーツイベントもすべて延期・中止となりました。オリンピックまでも！

我々の命を脅かし、自由を奪い、莫大な経済的損失を与えるこの新型コロナウイルスの恐ろしさと、私たちの身の回りにも感染リスクが高まっていることを改めて思い知らされました。

この状況のなか、本年7月に予定していた八雲会広島支部総会は、先輩諸氏と相談し、自粛解除を受け一時は秋に延期しましたが、最終的には中止とすることといたしました。

本年1月に開催された「雲南市ふるさと会」でお会いした会員の皆さんと「7月の総会には必ずお会いしましょう。」と約束したのに残念でなりません。会員の皆さんからも、「残念だ。次はいつやるのか。」と多数電話をいただきました。

8月6日、広島では原爆死没者慰霊式・平和

記念式典が行われました。今年は感染拡大防止のため参加者が制限され800名弱と例年の1割以下で75年の節目にしては寂しい式典となりました。地元町内会活動もすべて自粛、夏祭りなどイベントも軒並み中止となりました。

1日も早く、この新型コロナウイルスの感染拡大が終息し、普通の生活が取り戻され、気兼ねなく故郷を訪問でき、また総会が開催でき皆さまと元気に再会できることを願っております。

広島支部の会員状況を紹介しますと、本部で登録されている情報から年代を推定すると下記表-1のとおりです。

会員数も令和元年現在190名登録されていますが、60歳以上が占める割合が66%占めており相当高齢化しております。しかも平成15年（高55期）を最後にこの17年間新規会員の登録はありません。このままでは八雲会広島支部の存続が危ぶまれます。

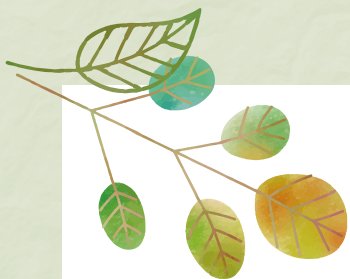
この空白を少しでも埋め会員数を増やし活性化させることが急務です。このため皆様の親戚、先輩、後輩、同窓会等から会員を発掘し紹介してください。

会員数拡大のため皆様の一層の協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

表-1 年代別会員登録数

	50未満	50代	60代	70代	80代	合計
会員登録数	18	42	54	56	20	190
30年度総会			4	10	4	18
R1年度総会	2		5	13	4	22





## おりべ5期の会 2020

大東高校第5期卒業生会・愛称「おりべ5期の会」は、今年も6月16日～17日に例会を予定して、会場も確保し、案内状も発送済みでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、急遽取り止めざるを得なくなってしまいました。例会の取り止めは会発足以来、初めての出来事です。

この1年で渡部文夫（幡屋）、田中宥行（幡屋）、岩崎啓子（旧姓都間・日登）の学友3名が冥界に旅立ちました。これで物故会員は40名となり、所在不明会員3名を加えると、当初会員115名の3割超となってしまいました。現在会員72名の中にも、体調不良や施設入所など、何らかの不具合を訴える学友も多く、まさに「終活適齢期」であることを強く実感させられます。

来年は、昭和9年組が米寿を迎えます。世話人会では、今年の無念をはらすべく、「米寿記念大会」を計画していますが、これもコロナのご機嫌次第。これから先のコロナ騒動の行方が気掛かりです。

おりべ5期の会 事務局 加藤 文則



### 【お詫びと訂正】 広報「八雲」第56月号の掲載記事に 誤りがありました

広報「八雲」第56号（令和元年10月発行）に掲載しました次の2つの記事におきまして、誤りがありました。

ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

#### 8ページ 第5期生寄稿

・筆者の名前

（誤）萩野 晶子 → （正）萩野 晶子

#### 9ページ 第5期生寄稿

・本文 第4段落 4行目

（誤）森山左衛門 → （正）木村小左衛門



## 新入会員紹介

YAKUMOKAI



### 狩野 真弥 (第72期)

高知大学 人文社会科学部人文社会科学科国際社会コース

私は、今年の春から高知大学に進学し、自分が興味・関心のある男女平等や多文化共生の実現に向けての学びを深めています。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、まだ一度も大学内で授業を受けたことはありません。しかし、このコロナ禍を逆手にとって始まった島根県内の様々なオンライン活動に参加しています。

例えば、久野地区の地域活性化について、久野交流センターが地域内外関わらず多くの人に利用してもらうにはどうしたら良いのか、グループを作り、週に2回程話し合いを行っています。

また、受験を終えた今、後輩に向けて何かできないかと思い、「受験を頑張る君たちへ」という進路企画を考えました。第一回は大東高校の3年生に向けて、夏休み補習期間を利用して実施しました。自分がやりたいと提案してから、全力でサポートしてくださった先生方やコーディネーターさんにはとても感謝しています。

私は、充実した大学4年間を過ごすために、多くのことに挑戦して、出会いや繋がりを大切にしていきたいです。

### 川角 音 (第72期)

3月に高校を卒業して、4月からホシザキ株式会社で働いています。私は働く上で体力が一番大事だと思いました。勉強と違い、長い間立ったり走ったりしなければならぬのでそれに耐えられる体力が大事だと感じました。

コロナウィルスの影響で、一人作業が多くなっている状況です。その中でわからないことがあったり上手くいかなかったりすることが沢山あります。それを、わからないままにするのではなく指導者の方々に聞いたり自ら積極的に行動したりして、沢山のひととコミュニケーションをとる必要さも学ぶことができました。

高校でやってきたことは決して無駄ではありませんでした。今後も部活動で学んだことや授業で学んだことを活かしていろんなことに挑戦していきます。

「極限への挑戦」

～皆さんもこれから上手くいかないことが沢山あると思いますが、決して挫けず諦めず挑戦し最後まで成し遂げてください！～



# 八雲会

## 平成31(令和元)年度事業報告

## 令和2年度事業計画

### 平成31(令和元)年度 事業報告

平成31年	
4月20日(土)	関西支部会(錦織副会長・校長)
4月22日(月)	第1回校内幹事会(役割分担等)
令和元年	
5月22日(水)	監査会(H30年度決算)
6月4日(火)	役員会(決算、予算、事業、総会)
6月17日(月)	第2回校内幹事会(総会)
7月6日(土)	八雲会総会
7月20日(土)	広島支部会
8月4日(日)	阿用支部会
10月1日(火)	会報「八雲」第56号発刊
10月19日(土)	関東支部会
11月21日(木)	海潮支部会
11月22日(金)	佐世支部会
11月23日(土)	春殖支部会
12月3日(火)	大東支部会
令和2年	
1月6日(月)	加茂支部会
2月14日(金)	第3回校内幹事会(入会式)
2月20日(木)	幡屋支部会
2月25日(火)	第2回役員会
2月28日(金)	第72期八雲会入会
3月15日(日)	久野支部会

### 令和2年度事業計画

令和2年	
4月24日(金)	第1回校内幹事会(役割分担等)
4月25日(土)	関西支部会(中止)
4月30日(木)	監査会(R1年度決算)
5月中旬	役員の皆様へ資料送付 (決算、予算、事業、総会)
7月4日(土)	八雲会総会(中止)
10月	会報「八雲」第57号発刊
月 日( )	関東支部会
月 日( )	広島支部会
月 日( )	松江支部会
月 日( )	大東支部会
月 日( )	春殖支部会
月 日( )	幡屋支部会
月 日( )	佐世支部会
月 日( )	阿用支部会
月 日( )	海潮支部会
月 日( )	久野支部会
月 日( )	塩田支部会
月 日( )	加茂支部会
月 日( )	宍道支部会
月 日( )	木次支部会
令和3年	
2月19日(金)	第2回校内幹事会(入会式)
3月1日(月)	第73期八雲会入会式



## 令和元年度 大東高校八雲会一般・特別会計決算書

## 1. 収入の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
入会金	939,000	911,100	▲ 27,900	年額3,000円
繰越金	530,734	530,734	0	前年度繰越金
寄付金	400,000	489,000	89,000	寄付金(116件)
雑収入	6	10,504	10,498	預金利息等
合計	1,869,740	1,941,338	71,598	

## 2. 支出の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
総務費	535,000	407,777	▲ 127,223	
会議費	230,000	112,769	▲ 117,231	役員会、総会費
旅費	200,000	204,429	4,429	支部会出席旅費
通信費	30,000	27,883	▲ 2,117	郵券等
事務費	25,000	27,276	2,276	振替払込書印字代等
管理費	50,000	35,420	▲ 14,580	会員登録、データ管理等
事業費	1,290,000	1,174,064	▲ 115,936	
八雲発行費	650,000	659,504	9,504	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	480,000	▲ 120,000	関東、関西、広島、加茂、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮の各支部
入会式	40,000	34,560	▲ 5,440	入会記念品(卒業証書入用筒)
雑費	10,000	0	▲ 10,000	
予備費	34,740	0	▲ 34,740	
合計	1,869,740	1,581,841	▲ 287,899	

## 特別会計(積立)決算書

平成30年度末残額	539,578円
創立百周年記念事業会計より返済費	4,862,016円
令和元年度利息	18円
令和元年度末残額	5,401,612円

(収入総額) 1,941,338円

(支出総額) 1,581,841円

(差引残額) 359,497円・・・令和2年度へ繰越

## 令和2年度 大東高校八雲会一般・特別会計予算書

## 1. 収入の部

(単位：円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
入会金	840,000	939,000	▲ 99,000	年額3,000円×280名
繰越金	359,497	530,734	▲ 171,237	前年度繰越金
寄付金	500,000	400,000	100,000	寄付金
雑収入	3	6	▲ 3	預金利息
合計	1,699,500	1,869,740	▲ 170,240	

## 2. 支出の部

(単位：円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
総務費	535,000	535,000	0	
会議費	230,000	230,000	0	役員会、総会費
旅費	200,000	200,000	0	支部会出席等旅費
通信費	30,000	30,000	0	郵券等
事務費	25,000	25,000	0	事務用品、振替払込書印字代等
管理費	50,000	50,000	0	会員登録、データ管理等
事業費	1,110,000	1,290,000	▲ 180,000	
八雲発行費	650,000	650,000	0	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	420,000	600,000	▲ 180,000	関東、関西、広島、松江、加茂、木次、宍道、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田の各支部
入会式	40,000	40,000	0	入会記念品(卒業証書入用筒)
雑費	10,000	10,000	0	
予備費	44,500	34,740	9,760	
合計	1,699,500	1,869,740	▲ 170,240	

## 特別会計(積立)予算書

令和元年度末残額	5,401,612円
令和2年度利息	388円
令和2年度末残額	5,402,000円

## 令和2年度～令和3年度 八雲会役員一覧

役職	氏名	期	役職	氏名	期
顧問	川上 朋良	高3	副会長	錦織 直行	高19
	景山 純孝	高9		田根 衛	校長
	安原 重隆	高11	監事	増田 敏男	高10
会長	土江 博昭	高18		狩野 健吉	高18
副会長	太田多美子	高13		石川 辰子	高23
	景山 源栄	高15			

## 【理事】

地区	氏名	期	地区	氏名	期
大東	青木 愛治	高18	塩田	新田 国善	高27
	光谷由紀子	高18		加茂	錦織 直行
	福岡久二子	高22	藤原 慶介		高12
	安部 幸治	高24	岸本 邦夫		高19
	早川 光幸	高24	永瀬 敬治	高23	
春殖	横山 美昭	高20	高橋 雄二	高32	
	木村 晋吾	高27	佐藤 隆司	高31	
幡屋	森山 武史	高25	木次	細木 弘志	高32
	山崎 英志	高29	穴道	渡部 清美	高27
佐世	錦織 一夫	高17	松江	細木 勝美	高18
	高橋 敬二	高22		八幡 憲次	高19
阿用	永瀬 康典	高18	広島	佐藤 眞	高17
	陶山 隆之	高17		富久 禮識	高6
	矢壁 正弘	高28		佐藤 和紀	高12
	安部万里子	高28	関西	広木 益夫	高16
久野	上代 英治	高29	関東	鏝木 茂雄	高32
	長妻 賢二	高32		持田 啓司	高32
	三澤 郁穂	高35			
海潮	新田 昭隆	高15			
	木村 昭憲	高17			
	宮川 稔	高27			

## 【大東高等学校事務局】

事務局長	石原 学(教頭)	幹事長	門脇 康文(高39)
幹事	藤井 孝之(事務長)	幹事	森山 智(高32)
幹事	小山 剛(高35)	幹事	藤原 智美(高48)
幹事	加藤 宏明(高57)	幹事	若槻 太一(高63)
幹事	細木 涼平(高67)	幹事	小山 美紀子

よろしくお願ひします。

## 【代議員】

令和2年9月23日 現在

地区	氏名	期	地区	氏名	期
大東	小山 益男	高20	松江	岩橋 弘政	高18
	下見 美光	高24		勝部 修	高19
	狩野 恵子	高24	広島	渡部 剛	高16
	山本 司	高32		三島 暁子	高17
春殖	糸原 優二	高33	関西	小山 勉	高23
	田中 久志	高33	関東	佐藤 博芳	高32
幡屋	郷原 辰雄	高22	<b>【八雲会支部長】</b> 大東支部 青木 愛治 春殖支部 横山 美昭 幡屋支部 森山 武史 佐世支部 錦織 一夫 阿用支部 永瀬 康典 久野支部 上代 英治 海潮支部 新田 昭隆 塩田支部 新田 国善 加茂支部 錦織 直行 木次支部 佐藤 隆司 穴道支部 渡部 清美 松江支部 細木 勝美 広島支部 佐藤 眞 関西支部 広木 益夫 関東支部 鏝木 茂雄		
	舟木 忠夫	高24			
	武田 良伸	高32			
	田中 互	高37			
佐世	安部 博	高18			
	鶴原 憲治	高25			
阿用	木色 薫	高20			
	森山 肇	高24			
	安井 修	高25			
久野	福岡 美博	高34			
海潮	岩田 和義	高19			
	福岡 廣明	高20			
	佐々木 徹	高23			
	山根 和幸	高25			
塩田	安達 隆亜	高42			
加茂	竹村 治美	高17			
	吉岡 敏隆	高27			
木次	上野城保明	高49			
穴道	佐藤 和彦	高32			



# 「八雲会」へのご寄付のお礼とお願い

昨年の会報「八雲」で寄付金のお願いをいたしましたところ、日本各地にいらっしゃる卒業生の皆様より寄付金を頂戴しました。この紙面をお借りしまして、心より御礼申し上げます。今年も引き続き、皆様のご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。

## 1. 寄付状況

◇総額：405,000円 ◇振込人数 107人

◇都道府県別寄付状況（人）

北海道 2 福島 2 千葉 3 埼玉 2 神奈川 2 東京 5 新潟 1 京都 3  
奈良 2 大阪 14 兵庫 4 岡山 2 広島 11 島根 51 鳥取 3

◇口別寄付状況（人） 1口1,000円

1口/38 2口/13 3口/23 4口/1 5口/18 10口/11 18口/1 20口/1 30口/1

## 2. 寄付者芳名録

（期順、敬称略）※令和元年9.14～令和2年8.31

期	氏名	都道府県	期	氏名	都道府県	期	氏名	都道府県
高女5	福岡 敏博	鳥取	高13	太田多美子	島根	高19	錦織 直行	島根
高女6	足立 彌生	島根	高定13	三島 修	京都	高21	奥津 正江	岡山
高女併中1	寺迫 弘子	広島	高14	鏑木 捷彦	新潟	高21	森山 拡	島根
高女併中1	石田 守子	島根	高14	高田 美子	島根	高21	鍛冶 咲子	大阪
高3	経種 信明	北海道	高14	錦織 涿郎	島根	高22	吉岡 祥治	島根
高3	江草まゆみ	京都	高14	安原知加子	島根	高22	原 幸生	大阪
高4	南雲 宏	千葉	高15	高島 節郎	東京	高22	高橋 敬二	島根
高5	藤原 義正	兵庫	高15	山中 茂樹	埼玉	高23	簾 洋一	広島
高5	入江 早苗	島根	高16	長谷川 享	島根	高23	門脇 文雄	北海道
高5	田部 艶子	島根	高16	松浦 孝保	鳥取	高24	長妻 幸宏	京都
高5	狩野 彰彦	広島	高16	田邊 勝志	島根	高24	前田 美子	京都
高5	荻野 晶子	島根	高16	広木 益夫	大阪	高24	安部 幸治	島根
高6	渡部 昭吉	兵庫	高17	加納 昭	兵庫	高25	鶴原 憲治	島根
高7	足立 清	島根	高17	藤井 廣満	島根	高26	田中 明子	島根
高8	藤原 和夫	島根	高17	三島 利政	島根	高26	女鹿田登美夫	島根
高8	瀧 清	島根	高17	佐々木ハツコ	神奈川	高26	原 泰夫	千葉
高8	加納 武夫	福島	高17	深田 陽二	島根	高26	川島 朝子	島根
高8	前田富美子	大阪	高17	小山智佳子	島根	高27	曳原 純子	奈良
高8家	小草 佑子	島根	高17	錦織 一夫	島根	高27	佐藤 延子	福島
高9	廣木 辰夫	兵庫	高17	岡田 幹雄	島根	高28	西村 馨	島根
高10	岡田 邦雄	広島	高17	佐藤 眞	広島	高28	加納 克彦	島根
高10	上代 隆	鳥取	高17	川島 陽子	大阪	高29	安部 茂	島根
高10	難波 陽子	大阪	高17	安部 京子	島根	高30	狩野 雄作	兵庫
高10	高橋 潮	奈良	高17	尾添 瑛子	島根	高32	佐藤 博芳	東京
高10	森 龍治	広島	高17	女鹿田 玉枝	島根	高33	金森 正	大阪
高10	田中 力	大阪	高17	森山 綾子	島根	高35	石川千登勢	東京
高11	伊元 一枝	大阪	高17	荒木 千代美	大阪	高35	勝部 清	島根
高11	松岡悠紀子	大阪	高18	稲村 和寛	大阪	高39	門脇 康文	島根
高11	渡部 嘉春	大阪	高18	足立 尚代	島根	高40	波田野竹彦	島根
高11	安原 重隆	島根	高18	福本 亨	埼玉	高41	吾郷 史郎	島根
高12	保科由美子	大阪	高19	今岡 光範	広島	高44	安原みずほ	島根
高12	村上智恵子	広島	高19	鶴原 武夫	岡山	高48	永瀬 規夫	島根
高定12	佐藤 和紀	広島	高19	細井 幹子	千葉	高71	石川 雄介	島根
高13	山崎 貞夫	神奈川	高19	吾郷 義治	東京		八雲会佐世支部	島根
高13	林 幸雄	東京	高19	勝部 修	島根			
高13	鐘 撞 弘	島根	高19	郷原 保男	島根			

・本人死去によるご家族の寄付および匿名希望の寄付あり

## 振込方法

専用振込用紙を年に一度お送りしている会報誌『八雲』と一緒にお届けします。一口1,000円から受付させていただきます。

◆寄付金額：一口 1,000円

◆振込先：ゆうちょ銀行（振込手数料はかかりません）

口座記号番号 01390-5-103127 口座名称 八雲会

◆その他・卒業生のお名前（ご家族の方等が振り込まれる場合も）お振り込みください。

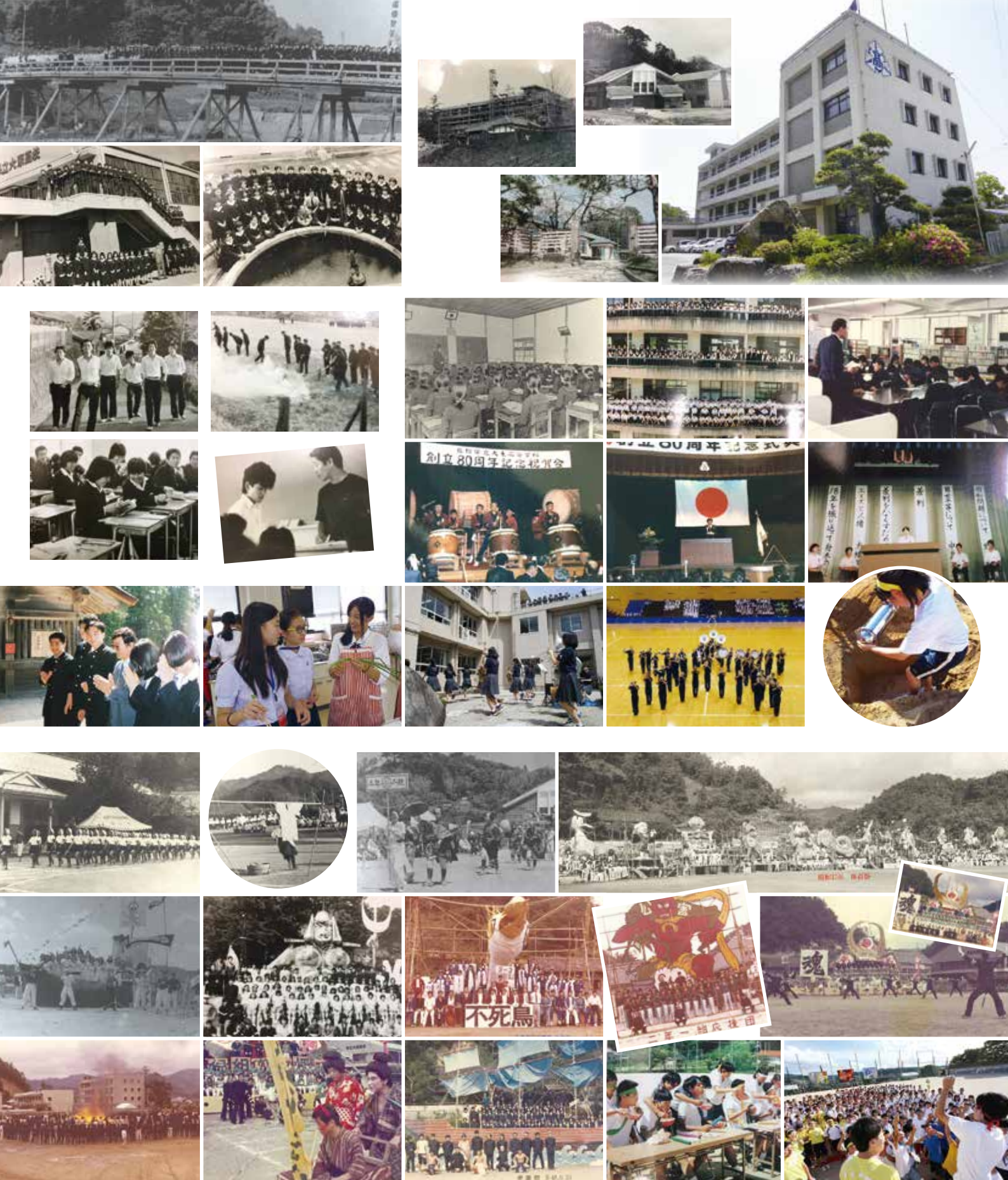
- ・通信欄に卒業期、または卒業年度をお書きください。
- ・振込期限はありません。（随時受付をしています）

※他行等からの上記口座へのお振込の場合は下記内容をご指定ください。  
振込手数料は差し引いてご入金ください。

店名(店番) 一三九(イサキウ) 店 (139)

預金種目：当座

口座番号：0103127



**編集  
後記**

会報「八雲」の発行に際しましては、ご多用の中、今年も多くの皆様のご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

☆大東高校公式 **facebook** もご覧ください

**大東高校内八雲会本部事務局**

島根県立大東高等学校  
〒699-1251 島根県雲南市大東町大東637  
TEL(0854)43-2511・FAX(0854)43-2512  
E-mail:daito-hs@edu.pref.shimane.jp  
ホームページ <http://www.daito-h.ed.jp/>